宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

■ 宮崎県第6週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 3,790 人（定点あたり 73.1）で、前週比 93%と減少した。

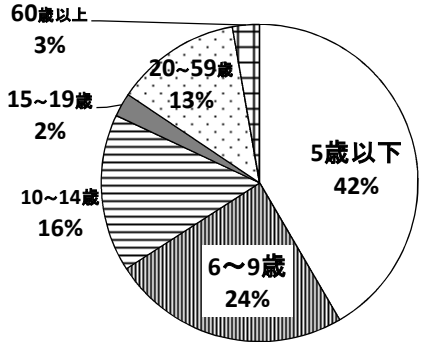
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

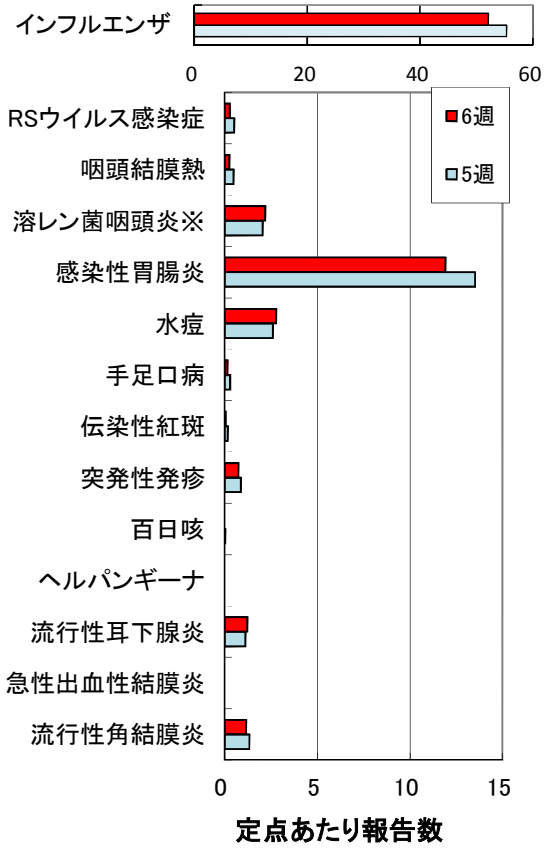
【インフルエンザ】

・報告数は 3,077 人（52.2）で前週比 94%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値（22.5）の約 2.3 倍である。宮崎市（69.0）・都城（60.0）保健所からの報告が多い。年齢分布を［図］に示す。

［図］インフルエンザ年齢分布

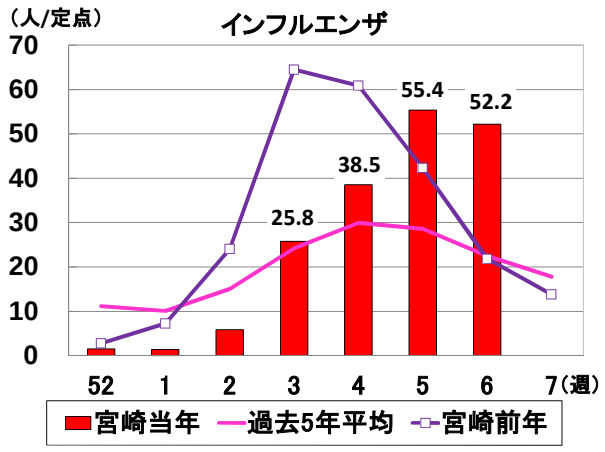


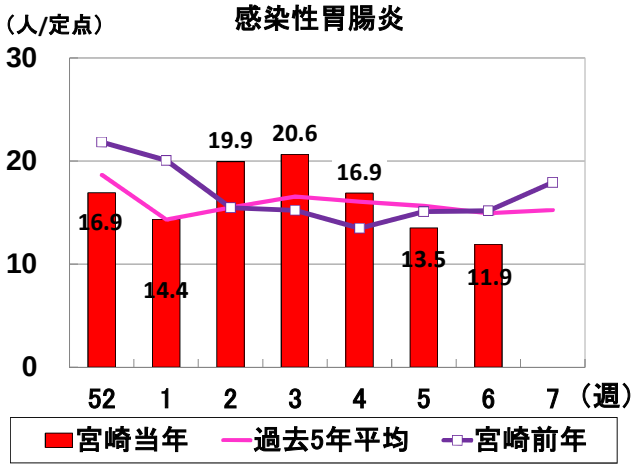
《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

※　感染性胃腸炎は、平成 24 年 1 月 26 日に流行警報開始基準値 20 を上回ったので流行警報を発令しましたが、第 6 週において終息基準値 12 を下回った（11.9）ので、警報を解除します。





★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：都城（1 人）保健所から報告された。患者は 2 歳で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(69.0)
都城	インフルエンザ(60.0)
延岡	インフルエンザ(55.7)、水痘(7.3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
日南	インフルエンザ(42.4)
小林	インフルエンザ(55.4)、感染性胃腸炎(30.3)
高鍋	インフルエンザ(48.2)
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報開始基準値：インフルエンザ（30.0）、水痘（7.0）、感染性胃腸炎（20.0）、
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（8.0）

■ 全数把握対象疾患

1 類感染症 ： 報告なし。
2 類感染症 ： 結核 7 例。
3 類感染症 ： 報告なし。
4 類感染症 ： つつが虫病 1 例。
5 類感染症 ： 後天性免疫不全症候群 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	**結核**	宮崎市	80 歳代	その他の結核（粟粒結核）	発熱
		都城	90 歳代	肺結核	咳、痰、呼吸困難
		延岡	40 歳代	無症状病原体保有者	－
			60 歳代	肺結核	呼吸困難
			80 歳代	その他の結核（頚部リンパ節炎）	頚部リンパ節腫大
			80 歳代	肺結核及びその他の結核（結核性膿瘍）	咳、痰
		高千穂	70 歳代	肺結核	咳、痰、呼吸困難
4類	**つつが虫病**	都城	80 歳代		発熱、発しん
5類	**後天性免疫不全症候群**	延岡	40 歳代	ＡＩＤＳ	非ホジキンリンパ腫

■ 全国第 5 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 57.6 で、前週比 109%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 209,974 人（42.6）で、前週比 119%と増加した。福井県（64.4）、岩手県（59.0）、石川県（55.7）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 30%、6 歳から 9 歳が 28%、10 歳から 14 歳が 20%、15 歳から 19 歳が 3%、20 歳から 59 歳が 16%、60 歳以上が 3%を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	398 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例		
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	1 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症	9 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	3 例	急性脳炎	11 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	11 例
	梅毒	12 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	風しん	5 例	麻しん	10 例		

■月報告対象疾患の発生動向　＜1 月＞

□性感染症

【宮崎県】　定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は33人（2.5）で、前月比83%と減少した。また、昨年1月（2.4）の約1.1倍であった。

《疾患別》

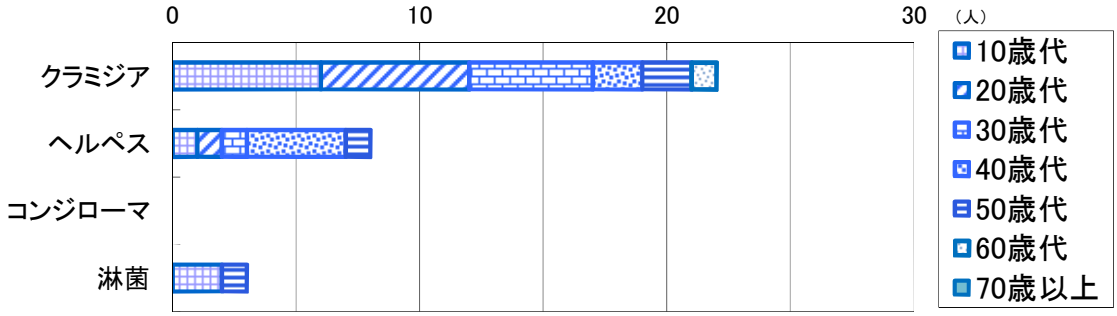
○性器クラミジア感染症：報告数22人（1.7）で、前月及び前年と同程度であった。延岡（2.5）保健所からの報告が多く、男性12人・女性10人で、10歳代後半・20歳代が全体のそれぞれ約3割を占めた。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約1.6倍、前年の約2.7倍であった。男性2人・女性6人で、40歳代が全体の半数を占めた。

○尖圭コンジローマ：報告はなかった。

○淋菌感染症：報告数3人（0.23）で、前月の約3割、前年の約4割であった。全て男性で、10歳代が2人、50歳代が1人であった。

年齢別性感染症報告数(1月)



【全国】定点医療機関総数：963

定点医療機関からの報告総数は3,818人（4.0）で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,845人（2.0）で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症709人（0.74）で前月比107%、尖圭コンジローマ428人（0.44）で前月比107%、淋菌感染症836人（0.87）で前月比102%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】　定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は29人（4.1）で前月と同数であった。また、昨年1月(5.1)の約8割であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人（3.4）で、前月とほぼ同じ、前年の約9割であった。宮崎市（7.0）、高鍋（5.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数4人（0.57）で、前月の約1.3倍、前年の約4割であった。宮崎市（3.0）、高鍋（1.0）保健所からの報告で、5歳未満が2人と30歳代と70歳以上がそれぞれ1人であった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症　：報告数1人（0.14）で、前月と同数であった。延岡保健所からの報告で70歳以上であった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】　定点医療機関総数：464

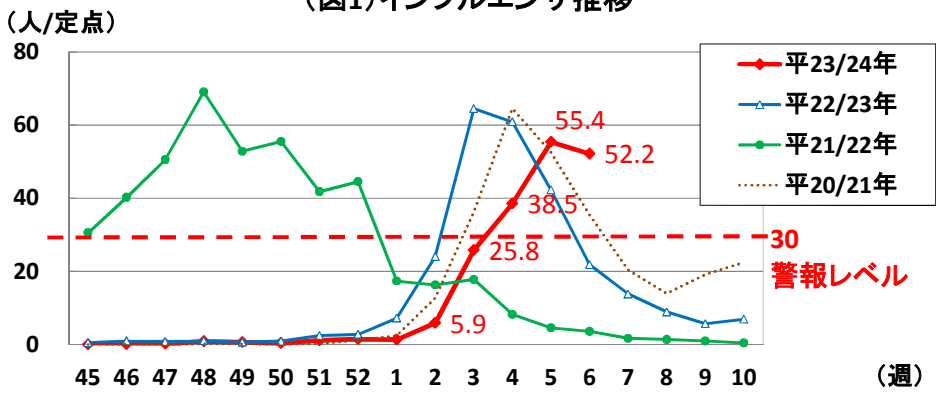
定点医療機関からの報告総数は 2,286 人（4.9）で、前月比 99%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 1,897 人（4.1）で前月比 102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 354 人（0.76）で前月比 86%、薬剤耐性緑膿菌感染症 34 人（0.07）で前月比 100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症 1 人であった。

■ インフルエンザ情報《県内第 6 週、全国第 5 週（再掲）》

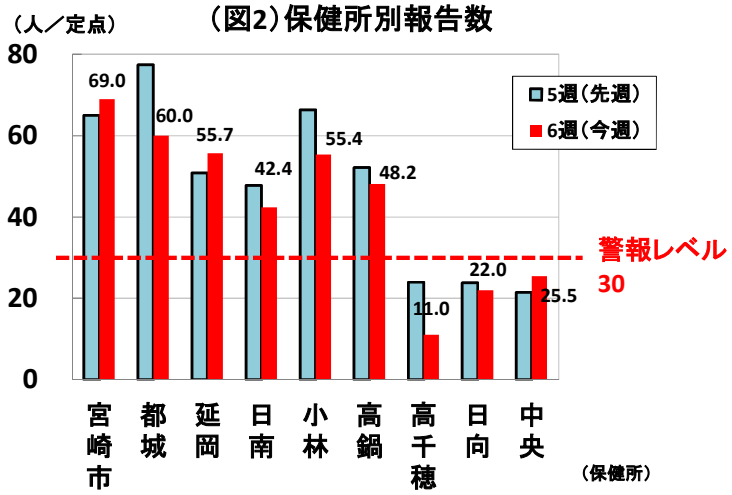
□ 県内第 6 週インフルエンザ発生動向

平成 24 年 2 月 6 日～2 月 12 日までの 1 週間で 3,077 人（定点あたり 52.2）の報告があり、前週の約 9 割と減少した（図 1）。宮崎市（69.0）・都城（60.0）保健所からの報告が多い（図 2）。年齢分布を（図 3）に示す。

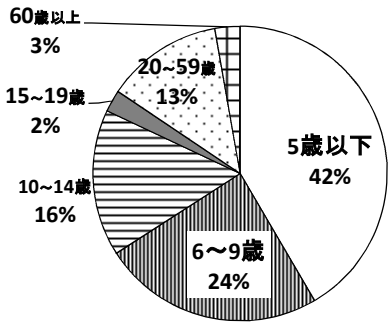
（図1）インフルエンザ推移



（図2）保健所別報告数



（図3）インフルエンザ年齢分布



インフルエンザ　警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○：警報レベル、△：注意報レベル、－警報・注意報レベルなし

保健所	今週	（6週）	1週前	（5週）	2週前	（4週）	3週前	（3週）	4週前	（2週）	5週前	（1週）
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	52.2	○	55.4	○	38.5	○	25.8	△	5.9	－	1.4	－
宮崎市	69.0	○	65.0	○	37.6	○	23.0	△	5.8	－	0.7	－
都城	60.0	○	77.4	○	41.2	○	15.4	△	4.0	－	1.4	－
延岡	55.7	○	50.9	○	37.1	○	31.3	○	6.7	－	2.3	－
日南	42.4	○	47.8	○	47.6	○	44.8	○	8.6	－	2.0	－
小林	55.4	○	66.4	○	70.6	○	34.0	○	6.6	－	0.4	－
高鍋	48.2	○	52.2	○	27.5	△	25.2	△	4.2	－	1.7	－
高千穂	11.0	△	24.0	△	24.0	△	12.5	△	2.0	－	2.0	－
日向	22.0	△	23.8	△	21.0	△	25.8	△	6.8	－	2.0	－
中央	25.5	△	21.5	△	36.5	○	22.0	△	10.0	△	0.5	－

□ 全国第 5 週インフルエンザ発生動向

平成 24 年 1 月 30 日～2 月 5 日までの 1 週間で 209,974 人（42.6）の報告があり、前週比 119%と増加した。福井県（64.4）、岩手県（59.0）、石川県（55.7）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 30%、6 歳から 9 歳が 28%、10 歳から 14 歳が 20%、15 歳から 19 歳が 3%、20 歳から 59 歳が 16%、60 歳以上が 3%を占めた。

宮崎県 感染症情報　（72定点医療機関 ）　2012年 第06週(02月06日～02月12日)

疾病名		第5週	第6週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3211	3077	1104	600	390	212	277	289	22	132	51
	定点あたり	55.36	52.15	69.00	60.00	55.71	42.40	55.40	48.17	11.00	22.00	25.50
RSウイルス感染症	報告数	18	10	1	2	1	1		1		4	
	定点あたり	0.51	0.28	0.10	0.33	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	9	1		5	2				1	
	定点あたり	0.49	0.25	0.10	0.00	1.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	72	79	9	6	32	1	4	7		16	4
	定点あたり	2.06	2.19	0.90	1.00	8.00	0.33	1.33	1.75	0.00	4.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	473	429	95	79	23	51	91	45	6	33	6
	定点あたり	13.51	11.92	9.50	13.17	5.75	17.00	30.33	11.25	6.00	8.25	6.00
水　痘	報告数	91	100	26	11	29	4	5	10	2	11	2
	定点あたり	2.60	2.78	2.60	1.83	7.25	1.33	1.67	2.50	2.00	2.75	2.00
手足口病	報告数	10	5		2		1		2			
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	6	2			1			1			
	定点あたり	0.17	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	31	27	8	2	4	4	3	2		3	1
	定点あたり	0.89	0.75	0.80	0.33	1.00	1.33	1.00	0.50	0.00	0.75	1.00
百 日 咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	39	44	12	5	2	2	5	8	5	2	3
	定点あたり	1.11	1.22	1.20	0.83	0.50	0.67	1.67	2.00	5.00	0.50	3.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	7	6	1							
	定点あたり	1.33	1.17	2.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	4	1		1							
	定点あたり	0.57	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点：59、小児科定点：36（インフルエンザ定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

上段：報告数
下段：定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数（2012年第1週～6週）

2類感染症	結　核	28例 (7)				
4類感染症	つつが虫病	12例 (1)				
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	4例	後天性免疫不全症候群	1例 (1)

(　)内は今週届出分、再掲